



日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは こうへい 山田耕平 です

2022.3.24 No.439

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを

ご活用下さい



杉並区議会 賛否が拮抗するも賛成多数へ

## パートナーシップ制度創設を求める陳情を採択

委員長（共産）が審査を実施  
陳情は、区民生活委員会委員長の富田たく区議員会（共産）が審査を決定。第1回定例会の区民生活委員会が審査されました。他の委員会では、多くの陳情が審査されないなか、党区議団が委員長を務める区民生活委員会では、全ての陳情の速やかな審査を実施しています。

### 委員長（共産）が審査を実施



「自治体にパートナーシップ制度を求める会」作成

2015年には渋谷区、世田谷区が創設したのを皮切りに、2月17日時点で全国150以上の自治体に広がっています。

杉並区議会第1回定例会で、パートナーシップ制度の創設を求める陳情が採択されました。  
「全国の自治体に広がるパートナーシップ制度」  
パートナーシップ制度とは、自治体の中で同性カップルにも異性カップルが結婚している場合とほぼ同等の権利を認めるもので、公営住宅の入居、緊急時の病院への面会等、家族同様の対応が可能となります。  
近年、性の多様性を認め合い、性的マイノリティへの差別をなくし、誰もが個人の尊厳を尊重される社会の実現を求める運動が広がり、行政や社会を大きく動かしてきました。

### 委員会では賛否が拮抗 本会議では賛成26、反対20

委員会質疑で党区議団は「性的少数者への差別を無くし、人権の尊重、生活向上のためにもパートナーシップ制度の創設は必要。採択すべき」と主張。

共産（1）、公明（1）、無所属連携（1）、立憲（1）が採択を求めました。自民（3）、無所属維新（1）は不採択を主張しました。

4対4の可否同数となったため、委員長判断により委員会として採択すべきと決定。

定例会最終日の本会議採決では、賛成26、反対20となり、賛成多数で採択されました。

- 賛成（26）  
公明7、共産6、連携4、立民4、平和4、革新1
- 反対（20）  
自民14、連携1、無維4、正理1

性的少数者が希望してる社会を  
杉並区は早期に制度の創設を

党区議団はパートナーシップ制度の創設を求め、再三にわたり質疑を行なってきましたが、区は「議会や区民の中に様々な意見があり、すぐに創設は考えていない」という答弁を繰り返してきました。議会での陳情が採択されたことを重く受け止め、早期に創設に踏み切るべきです。

陳情者の補足説明では、病院で主治医からの説明を受けられずに困っていることや、杉並区で制度が創設されれば、子ども・若者の性的少数者が夢や希望を持つることになるなど、陳情提出の理由を訴えました。

# 異常事態 競争入札なのに10年連続特定事業者が独占落札

## 入札で不自然な結果 区は目をつむる対応

### 学校教育施設芝生維持管理支援委託 落札事業者（過去10年間）

年	ブロック等				
	南1	南2	南3	北1	北2
2012年	O社	Y1社	S1社	T1社	H社
2013年	O社	Y1社	S1社	T1社	H社
2014年	O社	T1社	Y1社	T1社	H社
2015年	O社	Y1社	S1社	T1社	H社
2016年	O社	Y1社	S1社	T1社	H社
2017年	O社	Y1社	S1社	T1社	H社
2018年	O社	Y1社	S1社	T1社	H社
2019年	O社	Y1社	S1社	T1社	O社
2020年	O社	Y1社	S1社	T1社	O社
2021年	O社	Y1社	S1社	T1社	O社

※北2ブロックは2019年にH社の不正が発覚し指名停止。以降、H社は辞退。杉並区の入札(見積)経過調査より日本共産党杉並区議団が作成。

**10年連続同一事業者が独占落札も**  
日本共産党杉並区議団は、施設や公園等の維持管理をブロック別に分けて入札している事業について、入札結果を10年におたって調査・分析しました。

その結果、10年連続特定事業者が各ブロックの一位を継続している実態が明らかになりました。左表のように、学校教育施設芝生維持管理支援委託では、5ブロックを造園業5社が独占。10年にわたってブロックごとに1位事業者が指定席のように、ほぼ変わらない結果となっています。別事業(下表)も含め、10年間完全に指定席となっている事例も複数あります。

**規則性ある結果は通報案件一方、区は「不自然ではない」と答弁**

公正取引委員会は談合が推測され、通報すべき案件として「落札回数が均等」など「結果に何らかの規則性が見られる」ことをあげていることを示しています。党区議団は、その点を指摘、区の認識を質し、調査を行なうよう求めました。

一方、区は入札結果を「不自然ではない」と強弁。調査の意思すら示しませんでした。

区は、なぜ、極めて不自然な結果に目をつむるのか。田中区長が毎年のように区発注事業者等とゴルフを行ない、その中に上表の造園関係者がいることも注目せざるを得ません。

国家公務員倫理規程では、公務員が発注者とゴルフをすることは、疑惑を招く行為として禁止しています。

### 小学校警戒業務委託落札事業者

年	ブロック等			
	北東エリア	北西エリア	南東エリア	南西エリア
2012年	K3社	S2社	S2社	K3社
2013年	K3社	S2社	S2社	K3社
2014年	K3社	S2社	S2社	K3社
2015年	K3社	S2社	S2社	K3社
2016年	K3社	S2社	S2社	K3社
2017年	K3社	S2社	S2社	K3社
2018年	K3社	S2社	S2社	K3社
2019年	K3社	S2社	S2社	K3社
2020年	K3社	S2社	S2社	K3社
2021年	K3社	S2社	S2社	K3社

※2020年以前の事業名は「区立小学校常駐警戒業務委託」。杉並区の入札(見積)経過調査より日本共産党杉並区議団が作成。

### 除草請負落札事業者

年	ブロック等				
	南1	南2	南3	北1	北2
2012年	B社	Y2社	K1社	T2社	K2社
2013年	B社	Y2社	K1社	T2社	K2社
2014年	B社	Y2社	K1社	T2社	K2社
2015年	B社	Y2社	K1社	T2社	K2社
2016年	B社	Y2社	K1社	T2社	K2社
2017年	B社	Y2社	K1社	T2社	K2社
2018年	B社	Y2社	K1社	T2社	K2社
2019年	B社	Y2社	K1社	T2社	K2社
2020年	B社	Y2社	K1社	T2社	K2社
2021年	B社	Y2社	K1社	T2社	K2社

杉並区の入札(見積)経過調査より日本共産党杉並区議団が作成。

### 今週のコーナー

#### 第一回定例会終了 疲労困憊...

3月16日、第一回定例会が終了しました。議会冒頭でコロナに罹患し、その後も区政運営上の問題が噴出。さすがに疲労困憊です。深夜の帰宅が常態化し家族にも負担をかけました(泣)。休む暇ありませんが、子どもたちへのサービスの時間は確保したいと思います。

#### 隣接自治体 練馬区の入札結果の事例

杉並区の実態と異なり、各事業者がバラバラであり、規則性も無い。

### 練馬区：公共施設樹木管理作業落札事業者

年	ブロック等									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2017年	TM社	JJ社	SK社	IK社	KD社	TZ社	SB社	SK社	RD社	TR社
2018年	JJ社	HR社	IE社	TE社	MK社	MZ社	MZ社	PG社	TZ社	JE社
2019年	TZ社	SY社	IK社	GD社	MK社	PG社	MZ社	AT社	SG社	TM社
2020年	JJ社	NZ社	JL社	KE社	SY社	SK社	JL社	GS社	TM社	SY社
2021年	KZ社	KS社	TM社	JJ社	SK社	JL社	KE社	JJ社	GS社	AP社

練馬区の入札(見積)経過調査より日本共産党杉並区議団が作成。